

# 昭和電工株式会社東長原事業所 CSRサイトレポート2021



LNGサテライト設備

# トップメッセージ

日頃より昭和電工(株)東長原事業所の事業活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。当社グループは、「安全」と「コンプライアンス」を基盤に、優れた製品やサービスを生み出すことを通じて「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」の実現を目指して活動しております。

東長原事業所におきましても、地域の皆様やお客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様から信頼され、親しまれる事業所を目指して、社会が抱える問題の解決に役立つ製品・サービスを提供すると共に、温室効果ガスの排出削減や再生可能エネルギー・クリーンエネルギーの積極的活用、資源等の再生利用など様々な取り組みを進めています。

また、小学校への出前授業や工場見学など各種イベントを通じて地域の皆様との関わりを大切にすると共に、献血運動やアルミ缶リサイクルを通じたボランティア活動などにも精力的に取り組んでいます。

この「東長原事業所CSRサイトレポート2021」は、2020年から2021年上期までのCSRに関わる取り組みをまとめたものです。

皆様に当サイトレポートをご一読頂き、率直なご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸甚に存じます。



東長原事業所長 窪田 浩二

## トピックス

### ■LNGサテライト設備竣工！

LNG(液化天然ガス)は、石炭や石油に比べ燃焼時に温室効果ガスである二酸化炭素の発生量が少ないため、環境に優しいクリーンエネルギーとして注目されています。

東長原事業所では、場内に供給している蒸気のボイラーの燃料に重油を使用しておりましたが、環境負荷の低減並びに省エネルギー化を目的として、LNGへの燃料転換と高効率蒸気ボイラーの導入をしました。

2020年6月中旬にLNGサテライト設備工事を開始してから3ヶ月半の間、新型コロナウイルス感染症対策下での熱中症対策も課題となっていましたが、無事故無災害にて工事が完了し、10月に竣工いたしました。これにより、従来に比べて二酸化炭素排出量を約30%削減出来る見込みです。



LNGサテライト全景



安全祈願祭の様子



運転開始式

# 安全 の取り組み

■目標！休業災害・不休災害ゼロ！

## ■安全衛生方針

### 東長原事業所 安全衛生方針

昭和電工株式会社東長原事業所は、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識のもと、安全、健康で快適な職場を実現するため、次のとおり安全衛生方針を定める。

また、この方針の実現のため、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての協力を求め、事業所の安全衛生活動を推し進めていくものとする。

#### 基本方針

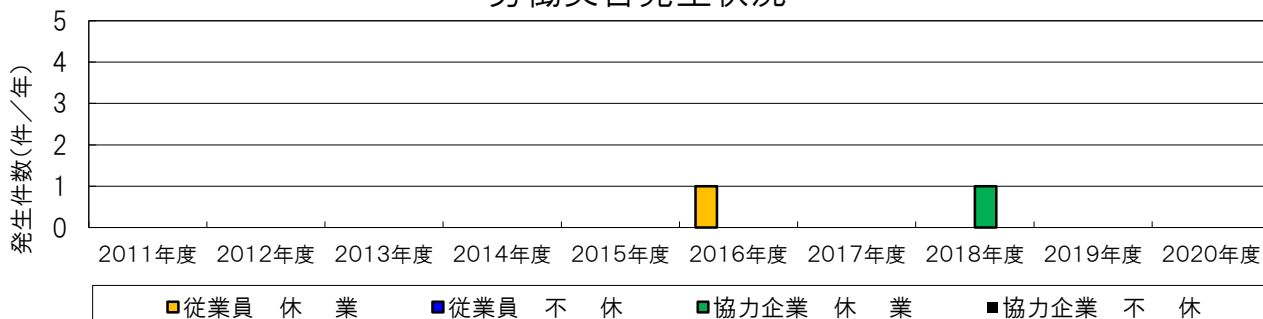
1. 安全最優先を徹底し、事故・災害ゼロを継続する。
2. 働く環境を改善・維持し、業務上疾病ゼロを継続する。
3. 全員参加による安全衛生活動を推進する。
4. 相互注意の精神を大事にし、職場の仲間を事故・災害から守る。
5. 従業員一人ひとりが心身共に健康で生き活きた職場環境の実現を図る。

## ■東長原事業所 従業員・協力企業の災害発生状況

2018年は、湯野上発電所の工事作業において協力企業従業員の熱中症による休業災害が1件発生しましたが、それ以降、事業所で働く人ひとり一人が、災害を絶対に起こさないという強い思いをもって安全活動に取り組んだ結果、2019年に続き、2020年も無災害を達成することができました。

今後も無災害を継続するため、従業員一丸となって安全活動に取り組めます。

### 労働災害発生状況



■最新データ集計期間：2019年12月16日～2020年12月15日

## ■全国安全週間の取り組み

安全に対する意識と職場の安全活動をより一層向上させる取り組みの1つとして、事業所内各企業11社と協同で安全ピラの配布を毎年全国安全週間に併せ実施しています。

2020年は、福島県内の熱中症による死亡災害件数が全国で2番目に多い年でした。

2018年に協力企業員の熱中症災害(休業)が発生して以降、熱中症災害発生防止のため熱中症予防基準を制定しましたが、「①規則正しい生活習慣 ②十分な睡眠 ③意識して水分・塩分補給する」ことの大切さを改めて注意喚起しました。

令和3年

### 全国安全週間

本週間：7月1日～7月7日

#### 持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場

「労働災害多発注意報」(令和3年7月10日～12月31日)  
全国安全週間は、安全に対する意識と職場の安全活動をより一層の向上に取り組みます。

福島県内の令和3年の休業4日以上労働災害は4月末時点で753件と昨年と比較すると+287件、+61.6%の大幅な増加となっています。

項目	実績
① 熱中症災害発生件数増加	事例数：多発!
② 熱中症災害発生件数減少	事例数：減少!
③ 熱中症予防対策実施による労働災害発生件数減少	事例数：減少!
④ 熱中症予防対策実施による労働災害発生件数増加	事例数：増加!

熱中症での死亡災害が急増しています!  
①規則正しい生活習慣、②十分な睡眠で体調を整え、  
③意識して水分・塩分補給し、熱中症予防を実施しましょう!



安全ピラ配りの様子

# 環境負荷削減 の取り組み

■ 社会・環境との調和

## ■ 環境方針

### 社会・環境との調和

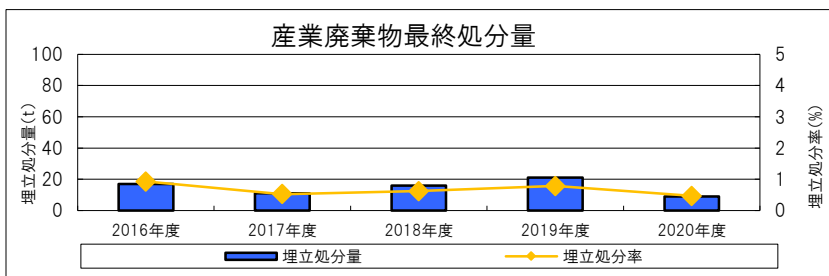
#### 行動指針

1. 川崎事業所および東長原事業所は、市民の一員としての自覚をもち自然と地域との共生をめざすとともに、生物多様性および生態系の保護に努める。
2. 化学製品の設計から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの段階で廃棄物や環境負荷の削減、省資源、省エネルギー、持続可能な資源の利用等環境保全に配慮した活動に努める。
3. 川崎事業所及び東長原事業所の活動が環境に及ぼす影響を認識し、継続的な改善と汚染の予防、気候変動への適応に努める。
4. 環境に関する法規制およびその他の要求事項を遵守するため、自主管理基準を設定し、環境の保全に努める。
5. 具体的な目的、目標を明確にして環境管理活動を推進し、状況の変化を反映させるべく定期的に見直しをする。

## ■ ゼロ・エミッションの取り組み

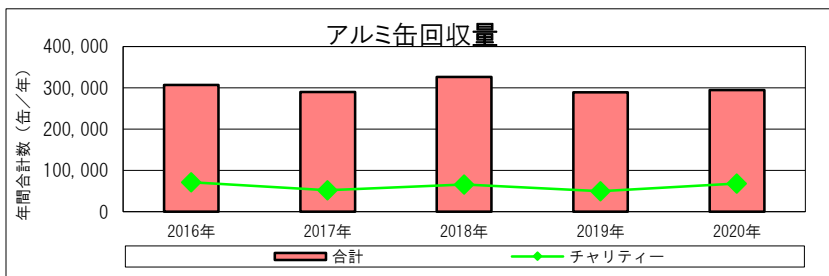
当事業所は、ゼロ・エミッションの取り組みを行っています。昨年度より最終埋立処分率を最終埋立処分量が産廃発生量の1%から0.5%以下になるよう目標値を上方修正し、最終埋立処分量の削減を達成することができました。

※ゼロ・エミッション：最終埋立処分量を発生量の目標値(1%→0.5%)以下にする



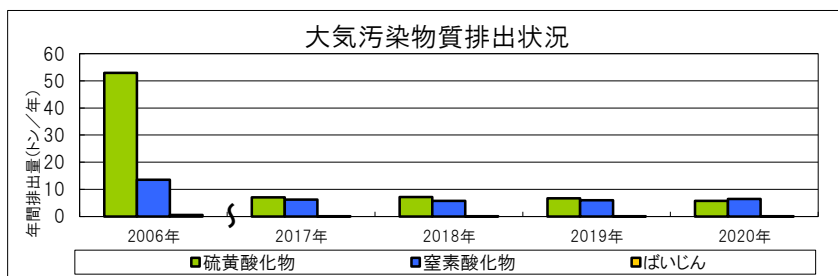
## ■ アルミ缶リサイクル活動

アルミ缶をリサイクルすると、原料から新たに地金を製造する際と比較して、97%ものエネルギーを削減できます。当活動では、回収収益金の寄付を目的としたチャリティー参加者を増やす取り組みをしています。収益金は地域の福祉団体等へ寄付されます。



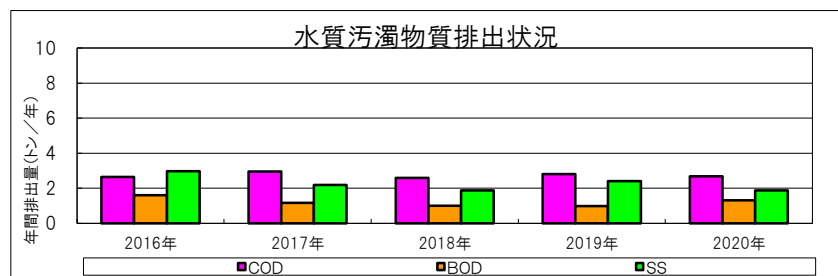
## ■ 大気汚染物質排出状況

2006年にボイラーの燃料をA重油に、2020年11月にはA重油からLNG(天然ガス)に変更し、また高効率蒸気ボイラーを導入したことにより二酸化炭素の排出量を約30%削減できる見込みです。また、硫黄酸化物、窒素酸化物及びばいじんを含め、排出濃度は法定基準を大幅に下回っています。



## ■ 水質汚濁物質排出状況

製造工程で発生する廃液は専門業者に廃棄物処理委託をしているため、河川に放流する排水は、主に工程で使用する冷却水や洗浄水となります。水質汚濁物質の排出総量に大きな変化はありませんが、末端排水口での管理濃度に関しては、法定基準より厳しい自主管理値を設定して維持・管理をしています。



# 防災 の取り組み

■ 事故・災害に備えて

## ■ 総合防災訓練

事業所内で火災・爆発・有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事業所内各企業と共同で総合防災訓練を年2回(春・秋)実施しています。これは、より大きな事故への拡大防止、消防署・警察署・近隣への通報連絡、避難誘導、負傷者救助・応急処置等を確実にを行うことを目的としており、会津若松消防署十文字出張所にもご協力いただいています。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して、FC課と非常時組織本部班のみが参加した訓練を行いました。限られた人員の中、情報伝達や現場の状況確認などトラブルなく終える事ができました。



安全確認作業



FC課CCRの様子



救助作業の様子

## ■ 応急手当推進事業所

当事業所には緊急時に救急車が到着するまでの間、応急の救命措置のできる従業員がいます。またAED(自動体外式除細動器)を場内企業と共同で設置し、応急手当推進事業所にも認定されています。2013年から湯野上発電所にもAEDを設置しています。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでしたが、例年毎年春季総合防災訓練終了後、会津若松消防署十文字出張所による普通救命講習を受け、心肺蘇生法とAEDの使用方法について学んでいます。

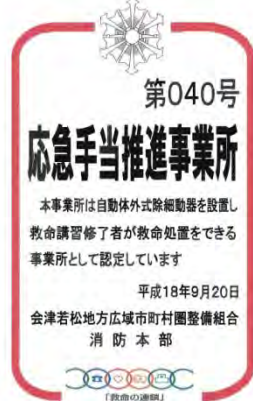
※写真は2019年実施時



十文字出張所職員による実技講習



心肺蘇生法実技講習



# 品質 の取り組み

■ お客様に満足いただける品質の提供

## 品質方針

### お客様の満足する品質の提供

- ・品質に関するお客様の情報を共有し、スピーディーに対応する。
- ・品質目標を定め、品質の維持向上を計画的に展開する。
- ・コンプライアンス意識を高く保ち、ルールを確実に守って業務を遂行する。
- ・コミュニケーションを深め、お客様の要求に適合した製品を提供する。
- ・従業員全員で品質マネジメントシステムを維持し、継続的に改善する。



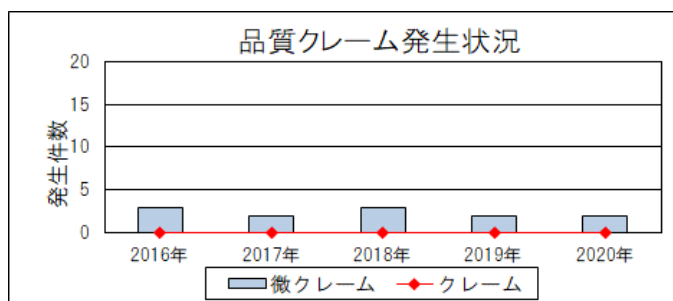
ISO9001 認証書

## 品質マネジメントシステム

当事業所は1995年7月にISO9001の認証を受けました。お客様に満足していただける製品品質を提供するための仕組みを構築し、継続して改善を行っています。

## 品質クレームの発生状況

様々な品質活動を通じてお客様からのクレームをゼロにするための取り組みを続けています。クレーム(補償金が発生するレベル)以上についてはゼロを継続し、微クレーム(補償金が発生しないレベル)については是正策を立案し、事業所全体の品質管理のレベルを上げ、クレームの撲滅を目指しています。

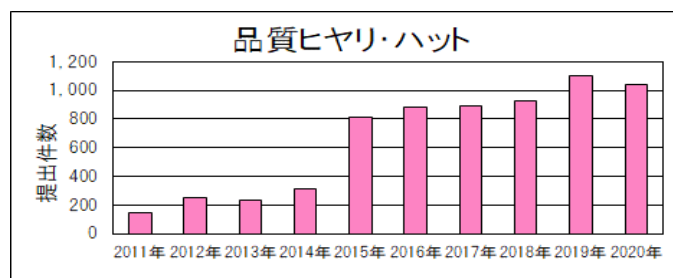


■最新データ集計期間:2020年1月~12月

## 品質活動

### ●品質ヒヤリハット

品質活動の一つに品質ヒヤリハット活動があります。従業員全員が参加することにより、品質気づき力を底上げし、品質トラブル撲滅に寄与しています。2011年に活動を開始して以来、品質ヒヤリハットの提出件数は増加傾向にあります。



■最新データ集計期間:2020年1月~12月

### ●品質月間の取り組み

毎年11月の品質月間に合わせて、品質意識の高揚、品質管理活動の向上の取り組みとして場内企業と共同で品質ビラの配布を実施しています。2020年の品質月間テーマは「みんなでつくろう新たな価値と変化に負けない組織力」でした。多様化するニーズや激しい世の中の変化にさらされる中で、変化に対応できる組織づくりが、お客様に満足いただける品質を提供し続けることにつながると考え、お客様視点での仕組みの構築、改善に取り組んでいます。



品質ビラ配布の様子

【用語説明】 ■ヒヤリハット活動:ヒヤリハットは、重大な災害や事故には至らないものの、そのことに直結してもおかしくない一歩手前の事例・体験で、「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたりすることが由来。これを事前に抽出し、対策を取ることで事故を未然に防ぐ活動。

# 湯野上発電所 旭ダム

■ クリーンエネルギー

## 湯野上発電所・旭ダム概要

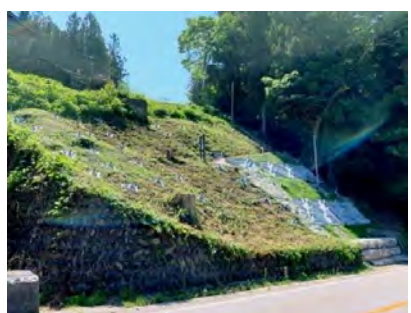
### 発電所取水フロー位置図

建設:1935年  
認可出力:7,980kw  
最大使用水量:12.5m<sup>3</sup>/秒  
最大落差:約70m



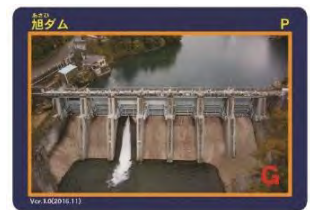
## 湯野上発電所安全管理

湯野上発電所周辺の法面は、表層崩れが発生しないように約10区画に分けて計画的に補強工事を行っております。  
2021年は、水圧鉄管の横にある国道上の法面補強工事を行いました。  
今後も地域の皆様に安心していただける発電所として補強工事を継続していきます。



法面補強工事完了

### 【ダムカード】



旭ダムについて広く知っていただくためダムカードを作成し、来場いただいた方に管理所でお配りしています。(写真はカード表面)

# 地域 との関わり

## ■ 地域との共生を目指して

### ■ 地域交流

#### ● 納涼祭

事業所内で働く従業員の慰労と地域の皆様との交流を目的に毎年8月の第一金曜日に開催しています。

従業員や協力企業の方々の手作りの屋台では、カレーやフランクフルトなどを振る舞い、毎回大盛況です。

毎年恒例のミニSL等の子供向けアトラクションや、抽選会などの企画もご来場いただいた方から好評を得ています。2021年は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて開催は中止とさせていただきました。



### ■ 公共的配慮

#### ● クリーンデイ

当事業所では、毎年春と秋の2回、事業所周りの清掃活動を行っています。

地域の皆様のご理解があって事業活動が継続できることへの感謝と、気持ちの良い環境の中で仕事をしたいとの思いから、場内企業と協力企業各社、OBの方々と共同で実施しています。



### ■ 人材育成

#### ● 出前授業

実験を通じて事業所への理解を深め、また化学に興味をもていただくことを目的に、2010年より小学校等を対象とした出前授業を行っています。

2020年も、地元河東学園小学校5年生へ「ゲルの生成」と「物質の三態」(写真)をテーマとした実験授業を行いました。



### ■ 地域福祉

#### ● アルミ缶リサイクル活動

当社グループを挙げて取り組んでいるアルミ缶リサイクル活動では、地域の福祉団体や学校からの使用済みアルミ缶の持ち込みも受け付けています。

アルミ缶は1缶1円で買い取り、福祉団体の事業資金としてご活用いただいています。また、従業員等からチャリティーとして集めた収益金で社会福祉団体へ物品の贈呈を行い、地域の福祉に役立てていただいています。今回はテレビや冷風扇等を贈呈しました。

